



【学校の教育目標】 **笑顔・夢・挑戦** 諦めない生徒の育成

令和5年度の2学期が終わりました。体育大会、湯山中文化の日(文化祭)の大きな学校行事や日々の学習活動、生徒会活動、部活動等を経て、湯山中生は一段と成長しました。特に、大きな学校行事における3年生の団結力とリーダーシップの高さは後輩への刺激となり、来年度に向けた彼らの活動意欲を高めることにつながりました。湯山中生の熱意と実行力は、来年度に引き継がれることは間違いないと強く感じています。

明日から冬休みに入ります。年末・年始の2週間(12/26~1/8)、今年一年の振り返りや新年の抱負などをご家族の皆さんと一緒に話してみましょ。心と体をほっこりさせて、3学期のスタートを迎えられることを願っています。3年生は次の進路に向けた準備がありますが、「備えあれば憂いなし」の意識で準備に抜かりなく取り組み、希望を達成してほしいと思います。では、「よいお年を。」

【3年生湯山ガーデン】

中庭が大変身!



【松山市中学校駅伝競走大会】

粘りの走り!湯山中選手団



【1・2年生キャリア学習】

演劇の手法を活用して表現力 up!



「挑戦」と「感謝」

1年1組 代表生徒

僕の長所は、「丁寧に時間をかけて物事に取り組み、最後までやり遂げること」です。その長所を誰かの役に立てることができたら、どんなに素晴らしいだろうと普段から考えていました。だから、「リーダー的な役割をやってみないか。」と肩をたたいていただいた時は、このチャンスを逃してはいけないとすぐに決心しました。学級委員長から始まり、文化祭実行委員、最後は生徒会選挙と、自分から立候補していけるようになり、一歩を踏み出せない弱気の僕はいつしか姿を消していました。まだまだ、未熟な僕ですが、失敗しても必ず支えてくれる仲間、導いてくださる先生がいます。そう確信したのは、文化祭の日の光景でした。合唱コンクール最後の練習で、一番の団結力で一番の合唱ができ、1組全員が2組に勝てると意気込んでいました。しかし、残念な結果に。その時、誰一人責める言葉を言う人はなく、歌う楽しさや絆を感じた満足した表情がいっぱいで、とても良い雰囲気でも文化祭を終えることができたのです。結果でなく、成長することや次への課題を見付けることが大切なんだと思えたクラスのみんなに感謝しています。また、ブロックで取り組んだ「ふるさと」の練習では、先輩方は的確なアドバイスと、堂々とした歌声で引っ張ってくださり、2年後の自分たちの姿と重ね合わせ、こんなリーダーになりたいなど、強いあこがれの気持ちを持ちました。美術部で挑戦した書道パフォーマンスでは、緊張こそしたけれど、練習の成果をみんながらせて、感動を共にできた喜びが、今でも心に残っています。このように、挑戦と感謝でまとめることができる素晴らしい2学期でした。

けれど、学習面では反省点が二点あります。一つ目は、取りかかるまでに時間がかかったことです。だから、開始時間と最初にやることを決め、絶対に守ります。二つ目は確認が甘いことです。ワークを再度解いたり、間違いをとことん見直したりして、「なんとなく分かった」から脱出します。弱点二つを克服し、僕の良さである「追究する粘り強さ」をプラスして、学習面でも「挑戦」の冬休みにします。塾任せにすることなく、宿題だけするのではなく、自主的にする学習も含めて毎日5時間は取り組む計画を立てました。この挑戦をやり遂げてみせます。今、全校の前で宣言した以上後戻りはできません。頑張ります。3学期にやり遂げた顔で良いスタートが切れるよう、一日一日しっかり向き合います。

## 「2学期の振り返りと3学期の抱負」

2年2組 代表生徒

新しい「出会い」がたくさんあった2学期。2回目の学級委員長も、2回目の行事も、去年の経験を生かし、より楽しい、レベルアップしたものになりました。

私がこの2学期に頑張ったことは、行事です。「練習や準備も楽しい思い出にする」と臨んだ2回目の行事。実行委員のリーダー達と一緒に呼びかけを頑張りました。前向きな言葉を使うと、みんな気持ちよく動いてくれました。体育大会の学年種目では、最初の練習から全員で気合を入れて全力でやり切りました。クラスで円陣を組むたびに、団結力が増していったように感じます。結果は、サッカーワールドカップ「三苦(みとま)の1ミリ」に匹敵するほどの僅差で負けてしまいましたが、なぜだかとても清々しい気持ちになりました。本番に向けての練習もすべて全員で、全力で取り組めたからだと思います。リベンジを誓った合唱コンクール。前日の最終練習では、担任の先生が涙を流すほど素敵なお歌に仕上がっていました。期待の中迎えた本番。ものすごい緊張で、今までで一番のお歌だったとは言いきれないお歌でした。練習を重ねるにつれて確実にレベルアップしていた合唱でしたが、振り返ると、練習開始が遅かったことも多々ありました。もっとああすればよかったと複雑な気持ちになり、本番でベストを出す難しさも学びました。しかし、行事を通して、今まで気付いていなかった、クラスメートの良さや、私自身の良さに出合うことができ、このクラスで過ごす時間が今まで以上に楽しくなりました。また、3年生の背中を見て、「次は私たちの番」という気持ちも強くなりました。

学習面では、1学期の反省を生かし、苦手科目の勉強に力を入れました。しかし、まだまだ偏りがあったように感じます。

3学期は、「3年生0学期」と言われています。全てが「最後の一回」になる残り一年。やり直しはできません。最後の行事も、部活も入試も、すべてを悔いのないものにするために、今何を頑張ればいいのか考えてみました。それは、苦手、しんどいから逃げない。しっかり向き合って行動しきることです。2月には、少年の日を迎えます。自分の将来を真剣に考え、楽しいこと、自分のやりたいことだけでなく、苦手やしんどいことも後回し、中途半端にせず、やり切りたいと思います。

## 「さらに成長する自分に」

3年1組 代表生徒

僕の2学期は、苦勞したこと、大変だったこともありましたが、行事に学習に全力で取り組み、その体験が自分を成長させてくれたと言えます。

体育大会では、副実行委員を務めた僕が、一番努力したことは、みんなのために役立つことを考えて、自分から進んで行動するということでした。全校のみんなが気持ちを一つにして、体育大会に臨めるように、担当の先生と打合せを行い、生徒主体の練習を進めていきました。学年種目では練習の前に水を撒き、跳びやすいようにしました。そして、たくさん跳ぶために、みんなに声を掛け、意見を聞き、何度も何度も話し合い、並び方や跳び方を決めました。また、誰よりも大きな声で跳ぶタイミングを言ったり、苦手な人には前向きな言葉を掛けたりして、跳びやすい雰囲気をつくりました。そうしていくうちに、みんなが声を出すようになり、その声がクラス全体のやる気や励みになり、とても嬉しかったです。本番では最高回数を跳ぶことができ、クラス全員で歓喜の声が上がりました。

合唱コンクールは今までで一番、真剣に取り組み、最高の合唱になりました。パート練習で楽譜に書き込みをしたり、友達と教え合ったりしながらより良い合唱をつくっていきました。最初は、なかなか音程がとれず大変でしたが、地道にパート練習を続け、音程が、ぴったり合った時には嬉しさでいっぱいになり、感動しました。本番では、聴いている人に感動を届けることができたと思います。合唱コンクールを通して、自分から動くこと、諦めないこと、協力することの大切さを学び、ここでも自分を成長させることができました。

2学期は1学期よりも進路について真剣に考え、それが学習にもつながりました。自分の目標としている高校に合格したいという強い気持ちが、やる気に繋がりました。学校に早めに登校し、自主勉強に取り組みました。昼休みや休み時間を有効活用し、ひたすら勉強しました。夏休みの学習相談から、気持ちを切り替え、努力した成果が10月の実力テストの結果につながりました。授業中も積極的に発表し、宿題や課題も丁寧にこなしていくと、授業の内容も良く分かるようになってきました。こつこつと学習を続けること、絶対に目標を達成することを心に決めて全力で勉強に取り組んでいます。

明日からの冬休みは、受験勉強のラストスパート。基本問題はもちろん、応用力がつくように入試対策をして、1月の実力テストでは、最高得点を目指して頑張りたいです。また、体調管理にも気を付けて、規則正しい生活を送り、家族の一員として、手伝いも積極的にしたいと思います。新しい年を、新たな気持ちで迎え、「さらに成長した自分」を実現できるよう目標に向けて進んでいきます。